

全難聴福祉大会（岡山）分科会情報

第1分科会



テーマ 「これからの難聴者（児）教育のあり方」 ～岡山の難聴学級の歩み～

昭和 35 年全国に先駆けてできた難聴学級もはや半世紀を迎えようとしているが、その教育の有効性を検証しつつ、これからの難聴者（児）教育のあり方について討論しようというものである。

- 座長 荒川 清美（全難聴理事）
- 副座長 岸本 尚子（岡山県難聴者協会事務局長）
- 講師 福田 章一郎（川崎医療福祉大学）
- パネラー 難聴学級OB
- パネラー 難聴学級教師

第2分科会

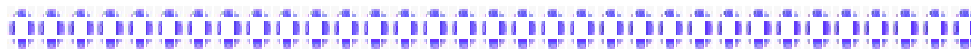


テーマ 「人工内耳で輝く人生」 ～音のある世界へ～

“人工内耳”文字通り人が作った機械の耳です。個人差はあるものの、ここまで聞こえるようになります。岡山医大耳鼻咽喉科の福島先生の人工内耳の正しい知識と装着前と装着後についての講演は聞き漏らさせません。また、瀬谷 前補聴医療対策部長と人工内耳装用者2名の体験談をまじえ、一緒に語り合いませんか？ 無音の世界から、ここまで復帰が可能なのですよ！

- 座長 瀬谷 和彦（全難聴 前補聴医療対策部長）
- 副座長 多々納善十郎
- 講師 福島邦博（岡山大学医学部）
- パネラー 船越博之・小笠原まゆみ

第3分科会



テーマ 「世界の難聴者は今・・・」 ～聞こえの障害と共に世界を回る？～

7月2日からカナダのバンクーバーで「第8回国際難聴者会議」が開催されました。この国際会議に参加した4人のメンバーを招いて「世界の難聴者は今・・・」というタイトルでパネルディスカッションを開催します。討議するテーマは（1）中途失聴・難聴者の国際交流と国際会議の役割、（2）国際交流・国際会議参加に当たっての情報保障のありかたで、第8回国際会議で感じた国際交流、国際会議参加の問題点、今後の交流・参加のあり方について情報保障の問題も含めて、分科会参加者と共に議論していきたいと思ひます。

分科会冒頭には国際難聴者会議の様子を紹介するビデオ上映も企画していますので、多数の方の参加をお願いします。

座長 新谷友良（全難聴国際部長）

参加報告 松中由佳里、他1名

パネラー 4名程度予定

第4分科会

テーマ 「若者達の未来予想図」 ～あなたの10年後～

未来予想図をどう描けば良いのじゃろうか。集まってみんなで語ろう！

青年のみな3（ざぁ～ん）今を楽しんでいますかぁ～？！

この大会で楽しく語り合える場を作ってみたよ。

あなたになりたい夢はありますか？将来に対して色々と不安はあると思います。でも、みな3（ざぁ～ん）にも夢はあると思う。大きな夢、小さな夢など…。

友達が欲しい、お金が欲しい、恋人が欲しい、変人（？）が欲しい？ e t c

その夢を実現のためにはどうしたらええんじゃろうか？この分科会で10年後の楽しい夢を語り合い、新しい自分を見つけるきっかけを作ろうじゃあ～。

この場で未来予想図を描いてみませんか～？

さぁ！みんなでチェンジングー

座長 佐々木 京寿（全難聴青年部）

副座長 未定 （全難聴青年部）

講師 未定

パネラー ブロック青年部OB（数名の予定）

パネラー ブロック青年部 （数名の予定）

第5分科会

『JDF地域フォーラム』

本大会で初めて登場するこのテーマ「JDF」とは日本障害フォーラムの略称です。12の障害者団体が「障害者権利条約」を中心に地域であたりまえに自立して住みやすい社会を構築するために話し合う公開討論会です。

この分科会は全難聴主催ではありません。岡山県身体障害者福祉団体連合（予定）主催、JDF後援（予定）によるフォーラムです。全難聴福祉大会開催に合わせて設定され、福祉大会参加申込者にとっては分科会扱いとして選択できるように配慮致しました。